

校訓

元気よく みんななかよく がんばる

学校教育目標

児童生徒一人一人の尊厳を重んじ、発達段階や特性等に応じて、持てる力を最大限に伸ばし、主体的に学びに向かい、生きる力を備えた児童生徒の育成に努めることをめざして次のように設定する

主体的に自ら生きる力を備えた、心豊かで積極的に社会参加・自立をめざす児童生徒の育成

めざす児童生徒像

元気に活動し、自分で  
できることは自分でする

自分の考えや気持ちを伝え、  
友だちと仲良くする

力いっぱい最後まで  
がんばる

①児童生徒が各教科の目標を意識し、主体的に取り組む授業づくり

- ・目標を意識し、主体的に解決するための授業づくりの視点の明確化。
- ・「生活科」「理科」「社会科」の基本的な考え方の修正・加筆。

重点目標

②児童生徒が一人一人の命の大切さを知り、安全に行動する

- ・児童生徒に命を守るための行動や知識の学習定着。
- ・児童生徒が安全に行動できるために体制や環境が整備。

③児童生徒が地域資源を活用した学習をとおして、地域を愛する気持ちや自己有用感を持つ

- ・地域人材活用リストの活用と、児童生徒の地域のよさの理解。
- ・児童生徒のボランティア活動の意義の理解。



学校関係者評価(学校評議員・PTA役員)  
教職員の自己評価等

学校評価

評価結果の説明・開示



次年度の計画

# ・卒業までに身につけたい力の学部重点、学年重点、育てたい姿を整理

主体的に自ら生きる力を備えた、心豊かで積極的に社会参加・自立をめざす児童生徒の育成

学校教育目標	主体的に自ら生きる力を備えた、心豊かで積極的に社会参加・自立をめざす児童生徒の育成					
めざす児童生徒像	元気に活動する	自分のことは自分でする	自分の考えや気持ちを伝える	友だちと仲良くする	力いっぱいがんばる	最後までがんばる
めざす児童生徒像の指標 卒業までに身につけたい力の具体	<ul style="list-style-type: none"> <li>①必要な体力を身につける</li> <li>②活動や作業に対する意欲がある</li> <li>③自己統制ができる</li> <li>④情緒が安定している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①身辺自立ができている(衣服の着脱・排泄・食事)</li> <li>②整理整頓ができる</li> <li>③活動や作業の準備や片付けができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①伝えようとする意欲がある</li> <li>②伝えるための手段を身につける</li> <li>③正しい言葉遣いができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①挨拶や返事ができる</li> <li>②相手の話(指示)を聞く</li> <li>③協調性がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①作業に対する熱意がある</li> <li>②順応性がある</li> <li>③集中力、持続力がある</li> <li>④確実な作業ができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①指示が理解できる</li> <li>②判断力がある</li> <li>③時間を守る</li> <li>④能率を考えて作業する</li> </ul>
卒業までに身につけたい力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・働く意欲・体力</li> <li>・整理整頓、準備片付け</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手に伝わる挨拶</li> <li>・「困り」等を伝える</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・働く意欲・体力</li> <li>・「困り」等を伝える</li> </ul>	
小学部教育目標	①健康で安全な生活を送り、自分でできることは自分でする		②いろいろな活動や行事に参加し、教師や友だちに自分の思いや気持ちを伝える		③身の回りのことや係仕事などに進んで取り組む	
中学部教育目標	①健康や安全に気をつけ、身の回りのことにきちんと取り組む		②集団活動に参加し、自分の考えや気持ちを伝え合い、自分の役割に応じて活動する		③職業生活に目を向け、仕事や学習に最後まで取り組む	
高等部教育目標	①健康や安全に留意し、よりよい日常生活を送る		②集団活動の中で自他を認め合い、互いの考えや心情を正しく伝え合う		③職業生活や社会生活を見据え、自らの課題に気づき、その解決に取り組む	